

地震・台風**に強い防災瓦** 安全・安心の**防災瓦**



防災瓦(ロック構造付)

【スレ飛散防止】 防災瓦は釘打ちだけでなく、ロック構造で瓦同士をがっちりロックし、台風にも強く、地震の揺れにも負けない頑丈な瓦と工法となっています。

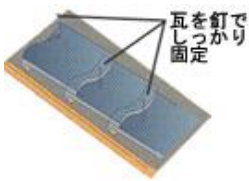
【軽量化実現】 防災瓦にすれば屋根の重量も土葺き工法の約半分程度になります。

【手入れ不要】 防災瓦は釉薬を施し高温で焼き上げた粘土瓦です。塗替えメンテナンスの必要がありません。

■J形 防災瓦

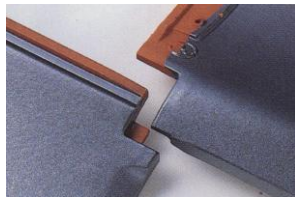


ポイント



瓦を釘で
しっかり
固定

ジョイント部に防災突起部を設けることで、瓦と瓦をガッチリと固定。強い風にも平気な、優れた耐風効果を発揮します。



■F形 防災瓦



下の瓦のハイパーアームが上の瓦のアンダーロック部をがっちり押さえ込むため従来の6倍ほどの耐風性能が発揮されます。



<ポイント>
Point

下の瓦のハイパーアームが上の瓦のアンダーロック部をがっちりロック。

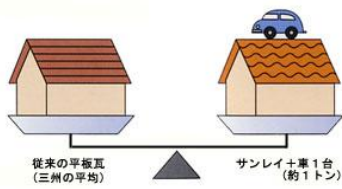
ハイパーアーム

アンダーロック部

■M形 防災瓦



陶器瓦の夢であった軽量化、瓦1枚2,900gと従来の平板瓦(三州の平均)に比べ約20%軽くなりました。屋根全体に換算すると約1トンも軽くなります。



従来の平板瓦
(三州の平均)

サンレイ+準1台
(約1トン)



■S形 防災瓦



和型の技術そのままに、平板形や新しいディテールの洋風瓦が多数販売されています。また、カラーバリエーションも豊富で、選ぶ楽しさがあります。

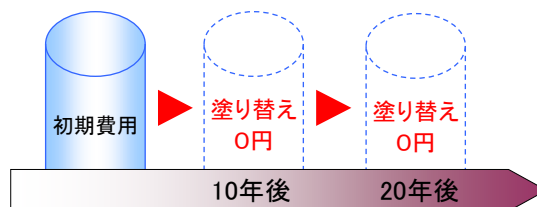


こんなところにも優れています！！

耐候性

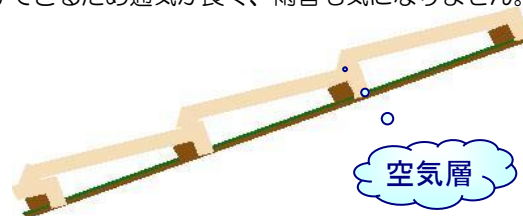
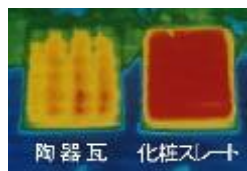
経済的

カラーベストやコロニアルといったセメント系の屋根材の場合、定期的な塗り替え作業が必要ですが、陶器瓦は自然素材である粘土とうわ薬を1130℃の高温で焼き締めた、表面がガラス質でコーティングされた陶器質の屋根材です。そのため、塗り替えるメンテナンスは必要なく、ライフサイクルコストを考えればとても経済的な屋根材です。また、大がかりな塗り替え作業に伴う手間や、メンテナンス期間中の近隣への影響も軽減できます。



断熱性

真夏の高温、真冬の寒気にさらされる屋根材には、屋内と屋外をささざる高い断熱性が求められます。陶器瓦は焼き締めた粘土自体の断熱性が高いため、小屋裏へ熱を伝えにくく、また内部の熱を逃がさない働きがあり、日本の気候に最も適した屋根材です。実験では、化粧スレートと陶器瓦の真夏の小屋裏温度差は5℃以上あることが確認されています。さらに、屋根面と瓦との間に空気層ができるため通気が良く、雨音も気になりません。



社団法人全日本瓦工事業連盟
岐阜県瓦葺組合加盟店

屋根のプロがアドバイス
ご相談は無料です！



屋根工事の専門店

(株) 竹本工務店

一級技能士・瓦屋根診断士

〒501-1203 岐阜県本巣市文殊924

TEL (0581) 34-2228/FAX (0581) 34-4366

URL : <http://www.takemotokoumuten.com>